

# 第1学年 英語科学習指導案

日 時：令和5年10月2日（月）  
場 所：荒川区立第四峡田小学校  
対 象：第1学年2組31名  
授業者：HRT 志間 菜月  
AD 大洞 真由子  
NEA Aliw Murakami

## 研究主題

自分の考え方や思いを表現しようとする児童の育成  
～『本当に伝えたいこと』を豊かに表現する言語活動を通して～

### 1 単元名 ○△□を英語でいってみよう 形 (Lesson Plan Unit6)

### 2 単元の目標

自分だけの旗を作るために、形を表す表現に慣れ親しみ、自分が欲しい形を伝えたり、相手の欲しい形を聞いたりすることができる。

### 3 関連する荒川区小学校英語科指導指針における領域別目標

|              |  |
|--------------|--|
| 読む           | ア 文字（大文字）の名前読みができるようにする。<br>イ 絵や写真、具体物等を頼りに簡単な英語の読み方に慣れ親しむようにする。<br>※年間を通して評価をするため、今回は評価しない。   |
| 話す<br>(やり取り) | ア 基本的な表現を用いて挨拶したり、感謝、お礼等を伝えたりする。<br>イ 自分のことについて、動作を交えながら、自分の思い等を簡単な言葉を用いて伝えようとする。<br>ウ サポートを受けて自分のことについて、簡単な表現を用いて、質問したり、質問に答えたりするようになる。 |

### 4 単元の評価規準

|              | 知識・技能             | 思考・判断・表現                | 主体的に学習に取り組む態度                          |
|--------------|-------------------|-------------------------|--|
| 話す<br>(やり取り) | ア形を表す単語に慣れ親しんでいる。 | ア基本的な形の言い方を使ってやり取りしている。 | ア相手に伝わるように基本的な形を表す言い方を使ってやり取りしようとしている。 |

### 5 指導観

#### (1) 単元観

本単元では、形を表す表現に慣れ親しみ、自分が欲しい形を伝えたり、相手の欲しい形を聞いたりしながら、シェイプフラッグをグループで協力して作りあげることをねらいとしている。そのため、4時間の授業を通して、やり取りに必要なキーワードセンテンスを主体的に練習できるような場面設定を取り入れ、習得できるようにしていく。形を用いて、シェイプフラッグを作るというゴールを意識しながら、目的意識をもって学習に取り組むことができるようにしていく。色に関して、既習

の事項となるため、色→形の順番を意識しながら、発話させる。

また、やり取りを行う際には、指で形を表現する等のジェスチャーやアイコンタクト等、非言語のコミュニケーション方法も、HRT、AD、NEA が積極的に使い、児童が模範に出来るようにしていく。

そして、児童が読む活動に自然に親しむことができるよう、大文字のアルファベットと絵をセットにし、形の単語を意識できるようにする。

### (2) 児童観

本学級の児童は、入学時から週 1 時間の英語の学習を継続している。当初は、初めての学習に抵抗を感じている児童も多かったが、英語で挨拶ができたり、新しい単語を覚えることができたりすることで達成感を感じ、意欲を高めている様子が見られている。体、色、数、天気など、日常生活でも使える英語表現を学習することで、他教科の学習や休み時間などでも学んだ英語表現を使うことができている。さらに、体や色の学習を通して簡単なやり取りも行っており、“~Please.”を使って自分が欲しいものをもらったり、尋ねたりする表現に触れている。色の学習では、“Pink Please.”の表現を使って、グループで旗を作った。グループでどのような旗を作りたいかイメージを膨らませ、そのイメージに合わせて各々が色のカードを選ぶ様子も見られ、グループごとに協力していた。

また、英語の授業以外では、毎週火曜日を金曜日に実施している English Day に意欲的な児童が多く、教室でも自分から挨拶をする児童が多い。新しいリアクション表現を覚えると、英語学習以外でも積極的に使用する児童が多く、英語表現を覚えることに喜びを感じている様子が見える。

### (3) 教材観

荒川区小学校英語科 Lesson Plan (第 1 学年) をベースとして、児童が主体的に学習に取り組めるよう授業を作り上げていく。単元のゴールに向けて、必要なキーワードセンテンスが習得できるよう、キーワードゲームやバスケットゲーム、カード交換ゲームなどの経験したことがあるゲームを取り入れ、安心して学習に取り組むことができるようとする。

また、アルファベットを意識できる絵カードや、リアクションカードやジェスチャーカード等を準備し、視覚でも認識できるようにする。楽しく歌いながら形の単語を習得できるように、ソングの活動も大切にしていく。

#### 【主な言語材料】

- A pink star,please.
- star
- square
- circle
- oval
- triangle
- rectangle
- heart
- diamond

## 6 研究主題に迫る手立て

### (1) 『本当に伝えたいこと』を豊かにするための言語活動の工夫

色の学習で取り入れた旗づくりを再びゴールに設定することで、「色だけでなく、形も選ぶことができる!」「次はこんな旗をつくりたい!」と、児童がより具体的なイメージをもって意欲的に取り組めるようにする。また、グループで一つの旗から、一人で一つの旗にすることで、「自分の旗がつくれる!」という特別感をもって取り組めるようにする。

段階的に必要な表現を習得できるようなアクティビティを設定し、児童が慣れ親しんだ表現で欲

しいカードを伝えられるようにしていく。

#### (2) コミュニケーションを豊かにする工夫

##### ・言語コミュニケーションの工夫

挨拶や感情表現が自然に身に付くよう、Greeting で歌を活用する。歌で学んだ表現から選ばることで、自分の思いを英語で伝えることができるようにしていく。また、English day を活用して、日常的に英語で挨拶をしたりリアクションをしたりできる環境を大切にする。

アクティビティを通して自然に必要なセンテンスが身に付くように、段階的にアクティビティを設定する。第1時に、発話量の多い、ミッシングゲームとポインティングゲームを取り入れることで、形を表す英語表現を自然に習得できるようになる。第2時に、バスケットゲームの中で、やりとりに必要なセンテンスを使うことで、ゲームを通して習得できるようになる。第3時にカード交換ゲームを取り入れて、実際に自分の欲しい色、形を伝える活動を取り入れる。第4時では、第3時までに身に付けたセンテンスを使って自分の欲しいカードを伝えられることで、満足感や達成感につながるようにしていく。

##### ・非言語コミュニケーションの工夫

Greeting や Daily question の活動で活発なジェスチャーを大切にさせる。帯で取り組むことで、児童から自然にジェスチャーが見られるよう意識付けていく。

ジェスチャーの必要性や大切さを実感できるよう、第2時と第3時にジェスチャークイズゲームを取り入れる。「ジェスチャーでも伝えられる！」という安心感が、より活発なコミュニケーションにつながるようにする。また、教員が積極的にジェスチャーを活用したり、手本となる児童を紹介したりすることで、児童の意欲につなげる。

#### (3) 教師の語り掛け、英語での指示の工夫について

児童が安心して英語学習に取り組めるように、視覚的に指示が伝わるようにする。掲示物を日本語で表記したり、ジェスチャーを活用したりすることで、英語での説明が理解できなくても、アクティビティにスムーズに参加できるようになる。また、活動前のデモンストレーションで実際に動いて見せたり、中間共有を活用したりすることで、児童が具体的なイメージをもって活動に参加できるようになる。

#### (4) AD、NEAとの連携について

AD や NEA と事前に授業内容の打ち合わせをして、児童が AD や NEA の発話を聞けるように役割分担をしている。また、各売り場で AD や NEA が見守ることで、児童の様子を見取り、困っている児童のサポートをすることができるようになる。

指導者の旗の紹介を、HRT、AD、NEA の3人で行い、児童が様々なイメージを膨らませられるようにする。児童が NEA や AD の発話を聞く機会を増やすために、チャンツはビートに合わせて NEA が行ったり、アクティビティ前のデモンストレーションを AD と NEA が行ったりする。さらに、アクティビティでは、AD と NEA が客側の発話の補助と店側の聞き取りの補助を行うことで、見取ったことを中間共有に活用したり、HRT の評価に活用したりできるようになる。

## 7 単元計画（全4時間扱い）

| 時 | ◆目標 ○主な学習内容・活動   | ※留意点 □評価  |
|---|--|---|
| 1 | <p>◆形を表す表現を知り、慣れ親しむ。</p> <p>○Greeting：日直が挨拶をする。<br/>名札を受け取る。</p> <p>○Daily Questions：指導者が質問し、児童が答える。</p> <p>○Alphabet time：歌「ABC Song」<br/>体文字を作る。</p> <p>○Today's Lesson：今日のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">かたちのいいかたをしろう。</div> <p>形を表す表現を知り、練習する。</p> <p>○Activity 1：キーワードゲーム<br/>①キーワードを決めて指導者が形を表す単語を言う。<br/>②児童が繰り返し単語を言う。キーワードを言われた時だけ繰り返さない。</p> <p>○Activity 2：ポインティングゲーム<br/>指導者が言った形を、児童は繰り返し発音し、そのカードを指差す。</p> <p>○Story Time：絵本「A Trip to Grandma's House」<br/>(Harper Festival)</p> <p>○Reflection：振り返りをする。</p> <p>○Goodbye Greeting:日直が挨拶をする。</p>   | <p>※手本を見せてることで、旗づくりをするという学習のゴールを意識させる。</p> <p>※絵カードの提示や練習方法を工夫する。</p> <p>※形を手で作る等イメージして練習をさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</div> |
| 2 | <p>◆ゲームをとおし、形を表す表現を尋ねたり答えたりし合う。</p> <p>○Greeting：日直が挨拶をする。<br/>名札を受け取る。</p> <p>○Daily Questions：指導者が質問し、児童が答える。</p> <p>○Alphabet time：歌「ABC Song」<br/>体文字を作る。</p> <p>○Today's Lesson：今日のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">ほしいかたちをつたえるいいかたをしろう。</div> <p>形を表す表現を確認する。<br/>練習する。</p> <p>○Songs/Chants：チャンツ「Shapes chant」</p> <p>○Activity 1：ジェスチャークイズゲーム<br/>お互いにジェスチャーで形のクイズを出して、答える。</p> <p>○Activity 2：シェイプバスケットゲーム<br/>①椅子を並べ、一つの大きな円を作る。（人数-1）<br/>②オニ以外の児童がHello!と声を掛ける。<br/>③児童はHello! Star please.と答える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> All : Hello!<br/> オニ : Hello! A star please.<br/> All : A star please.<br/> オニ : Here you are.<br/> Star のカードをもっている児童が動く。<br/> It's a nice shape! で全員動く。 </div> <p>○Story Time：絵本「A Trip to Grandma's House」</p> <p>○Reflection：振り返りをする。</p> <p>○Goodbye Greeting:日直が挨拶をする。</p> | <p>※絵カードの提示や練習方法を工夫する。</p> <p>※形を手で作る等イメージして練習をさせる。</p> <p>※元気よく全身で踊りながら歌うように促す。</p> <p>※指導者が手本を見せ、やり方を説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">□話す（やりとり）【知・技】ア</div>   |

|      |   |  |
|------|---|--|
|      | <p>3 基本的な形の言い方を使ってやり取りをしようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Greeting：日直が挨拶をする。<br/>名札を受け取る。</li> <li>○Daily Questions：指導者が質問し、児童が答える。</li> <li>○Alphabet time：歌「ABC Song」<br/>体文字を作る。</li> <li>○Today's Lesson：今日のめあてを知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>かたちのいいかたをつかってほしいカードをつたえよう。</p> <p>形を表す表現を確認する。<br/>練習する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Songs/Chants：チャンツ「Shapes chant」</li> <li>○Activity 1：ジェスチャークイズゲーム<br/>お互いにジェスチャーで形のクイズを出して、答える。</li> <li>○Activity 2：カード交換ゲーム             <ul style="list-style-type: none"> <li>①形カードを児童に配る。</li> <li>②挨拶して、欲しいカードを伝える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>A: Hello!<br/>B: Hello! A pink star, please.<br/>A: Here you are.<br/>B: Thank you.<br/>A&amp;B: Bye.</p> </div> </li> </ul> <p>③カードを交換し、別れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Story Time：絵本「A Trip to Grandma's House」</li> <li>○Reflection：振り返りをする。</li> <li>○Goodbye Greeting:日直が挨拶をする。</li> </ul> | <p>※絵カードの提示や練習方法を工夫する。</p> <p>※形を手で作る等イメージして練習をさせる。</p> <p>※ルールをデモンストレーションで説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/>話す(やりとり)【思・判・表】<br/>ア<br/><input type="checkbox"/>話す(やりとり)【主】</p> </div>                             |
| 4 本時 | <p>相手に伝わるように、基本的な形の言い方を使ってやり取りをしようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Greeting：日直が挨拶をする。<br/>名札を受け取る。</li> <li>○Daily Questions：指導者が質問し、児童が答える。</li> <li>○Alphabet time：歌「ABC Song」</li> <li>○Today's Lesson：今日のめあてを知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ほしいかたちをつたえて、じぶんだけのこつきをつくろう。</p> <p>形を表す表現を確認する。<br/>練習する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Songs/Chants：チャンツ「Shapes chant」</li> <li>○Activity：旗づくり</li> <li>○ショッピングタイム             <ul style="list-style-type: none"> <li>①色ごとにお店屋さんを用意する。</li> <li>②お客様は、お店に行って欲しいカードを集めめる。</li> <li>③交代する。</li> <li>④のりではる。</li> <li>⑤最後に児童同士でできた旗を見せ合う。</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Story Time：絵本「A Trip to Grandma's House」</li> <li>○Reflection：振り返りをする。</li> <li>○Goodbye Greeting:日直が挨拶をする。</li> </ul>  | <p>※絵カードの提示や練習方法を工夫する。</p> <p>※形を手で作る等イメージして練習をさせる。</p> <p>※元気よく全身で踊りながら歌うように促す。</p> <p>※指導者が手本を見せ、やり方を説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/>話す(やりとり)【思・判・表】<br/>ア<br/><input type="checkbox"/>話す(やりとり)【主】</p> </div> |

## 8 評価規準にもとづいた具体的な評価計画

《話す（やり取り）》

| 時 | 知識・技能   | 思考・判断・表現                | 主体的に学習に取り組む態度                         |
|---|---|-------------------------|---------------------------------------|
| 1 | 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 |                         |                                       |
| 2 | 形を表す単語に慣れ親しんでいる。  |                         |                                       |
| 3 |   | 基本的な形の言い方を使って、やり取りしている。 | 相手に伝わるように基本的な形を表す言い方を使ってやり取りしようとしている。 |
| 4 |   | 基本的な形の言い方を使って、やり取りしている。 | 相手に伝わるように基本的な形を表す言い方を使ってやり取りしようとしている。 |

## 9 本時（4／4）

### （1）目標

相手に伝わるように基本的な形を表す言い方を使ってやり取りしようとすることができる。

### （2）展開

| 学習の流れ           | 主な学習活動   | 主な英語表現・語句   | ※留意点<br>□評価   |
|-----------------|--|---|---|
| Greeting        | ○日直が挨拶をする。                                     | Today's English leaders, please, come to the front.<br>Let's start our English class. | ※挨拶をする人の目を見るよう指示する。<br>※名前を呼ばれたら "Here" と元気よく答えさせる。 |
| Daily Questions | ○指導者が質問し、全員が答える。                               | T : How's the weather today?<br>S : It's ~.   |   |
| Today's Lesson  | ○今日のめあてを知る。<br><br>ほしいかたちをつたえて、じぶんだけのこつきをつくろう。 | Today's goal is~.   |   |
|                 | ○形を表す表現を確認する。<br>○練習する。                        | Let's practice !<br>Are you ready?  | ※絵カードの提示や練習方法を工夫する。<br>※形を手で作る等イメージして練習をさせる。        |
| Song and Chants | ○チャンツ「Shapes Chant」                            | Let's sing a song.<br>Are you ready?  | ※NEA のリズムに統いて発音する。                                  |

|                   |   |  |  |
|-------------------|---|--|--|
| Activity          | <p>○ショッピングタイム<br/>         ①色ごとにお店屋さんを用意する。<br/>         ②お客様は、お店に行って欲しいカードを集める。<br/>         ③交代する。<br/>         ④のりではる。<br/>         ⑤最後に児童同士でできた旗を見せ合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">           お客様:Hello. A pink star, please.<br/>           お店屋さん:Here you are.<br/>           お客様:Thank you. Bye.         </div> |  | <p>※指導者が手本を見せ、やり方を説明する。<br/>         ※前半と後半のそれぞれで、中間共有を行い、児童のよりよいコミュニケーションにつなげる。</p> <p><input type="checkbox"/>【思・判・表】基本的な形の言い方を使ってやり取りしている。<br/>         (行動観察・振り返りカード)</p> <p><input type="checkbox"/>【主】相手に伝わるよう に基本的な形を表す言い方を使ってやり取りしようとしている。(行動観察・振り返りシート)</p> |
| Reflection        | <p>○振り返りをする。</p>  |  |  |
| Goodbye Greetings | <p>○日直が挨拶をする。</p>   | <p>That's all for today.<br/>         Today's leader, come to the front, please.<br/>         Good job. See you.</p> |  |

## 10 板書計画

ほしいかたちをつたえて、じぶんだけのシェイプフラッグをつくろう。

言語材料の掲示



Only 10.

Eye contact

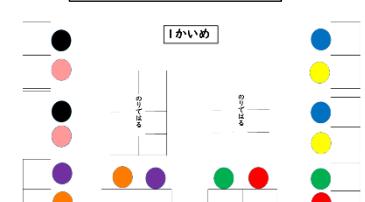
Clear voice

Smile

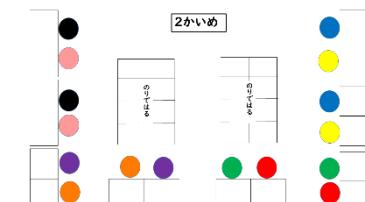
Gesture

机の配置図

1かいめ



2かいめ



## 1.1 協議会の記録

○指導講評 聖学院大学人文学部欧米文化学科教授 東 仁美先生

- ・年間の研究授業がすべて終わった。残すは研究発表のみ。研究発表に向けて、低学年の英語授業のメッセージとして第四峡田小学校として何を発信するのか考えていく。クラス運営、子供たちの指導、メリハリができる授業ができるということを感じた。

- ・中間指導（共有）

言語活動が授業の中心の場合、中間指導をしてもすぐにそのセンテンスは使えるようにはならない。共有は英語で言えなかった表現を知ることが目的である。学級全体で共有すべき課題をもつている児童を意図的に指名。児童にどこがよかつたか気付かせる。モデルになる子を先生が見付けることが難しい場合は1人で見付けず、AD、NEAに聞く。また、中間共有では「言いたいことを言わせてあげたい」足場組みをする。児童が工夫してよくなつた姿まで見とる。そこから主体的に取り組む態度を育てていく。

- ・冠詞について

絶対付けなければならないことはないが、習慣付けることが大切。教員が言えていればよい。児童にはa、anがさりげなく出るようにしていく。デモンストレーションで教員が使うことで意識させ、机間指導の際にうまく使えていない子には個別に言葉を足してあげる。

- ・授業をできるだけ英語で行う必要性

絶対こうというやり方ではできない。(学習者の実態、All Englishだと英語に嫌悪感を抱いてしまうかもしれない児童がいるため。)

- ・英語の精度を高める。

×Please reaction → ○Reaction please. Pleaseの後は動詞。(Please make a reaction)

- ・英語で伝えていても伝わらない場合は日本語で伝える。どこから日本語を使うのか見極めをする。自身の外国語活動の指導力を向上させたい場合は英語をどんどん使う。授業で英語をたくさん使うことで子供のインプットの数が増える。

- ・打合せについて

時間がない場合はポストイットで打合せをし、必ず学級担任に承諾をもらう。

- ・低学年でやってほしいこと

簡単な英語に慣れ親しむ。できるだけ多く英語に触れさせる機会を作る。歌、踊り、ゲーム、楽しい体験、豊かな言語活動、リスニングを行い、中学校外国語活動への動機付けをする。上手にできなくても楽しい気持ちをもってほしい。観察をしっかりし、手を差し伸べてあげる。

## 1.2 成果と課題

### 【成果】

- ・アクティビティを通して自然に必要なセンテンスが身に付くように、段階的にアクティビティを設定することで、児童が欲しい形を伝えることができていた。

### 【課題】

- ・冠詞について

デモンストレーションで教員が使ったり、机間指導で個別に言葉を足したりすることで、児童に習慣付けていくことが大切である。

- ・中間共有

学級で共有するべき課題をもっている児童を取り上げたり、指導者がよい例と悪い例を比べて見せたりして、中間共有がその後の活動により効果的なものにすることが必要。